

成果指標				
成果指標	窓口受付件数			
指標設定の考え方	年金受給に関する申請の窓口受付件数を指標とし、市民の年金受給権が確保され、制度が円滑に行われていることの成果を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	4640	4640	0	0
実績	4384	4127	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成26年4月1日から、国民年金法の一部改正により、国民年金保険料の免除等が過去2年1ヶ月分まで延長されたため、制度の周知を徹底するとともに、免除申請の認定審査にあたっては、最大で4年分の所得情報の確認が必要となるため、システム改修等の対応をしていかなければならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	国民年金制度の内容が、度々改正され複雑化してきているので、制度の周知徹底を図るとともに、市民の立場に立ち、分かりやすく丁寧な対応を心がける必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	